

体罰根絶のためのセルフチェックシート

月 日

体罰を未然に防ぎ、児童生徒との信頼関係を築くために、折にふれて、セルフチェックシートを活用し、自分自身の人権感覚や指導・校内体制の在り方について振り返る契機としてください。

<活用>

- 1 あてはまる項目に○をつけて、自己評価する。
- 2 チェックシートを持ち寄り、自分自身の人権感覚や指導・校内体制の在り方を話し合おう。

		設 問	ある	ない
自分自身に関する事	1	体罰は「愛の鞭」であり、時と場合によってはあり得ると考えることはありませんか。		
	2	「自分自身も、体罰によって成長できた面がある」という考えで、指導を行うことはありませんか。		
	3	生徒を指導する際、怒鳴ったり、威圧的な態度をとったりすることが多くありませんか。		
	4	生徒の弁明も聞かず、頭ごなしに叱ることはありませんか。		
	5	かっとなったり、興奮したりして、人格を否定するような言葉を生徒にかけてしまうことはありませんか。		
	6	生徒の日頃の身なりや行動を引き合いに出したり、誰かと比較したりして指導することはありませんか。		
	7	生徒を固定的にとらえ、性格や特徴などをきめつけて指導することはありませんか。		
	8	生徒の障害特性への理解の不十分さから、冷静さを欠いた指導をすることはありませんか。		
	9	自分の指導を振り返ることが少なく、自分本位な指導に陥りがちな傾向はありませんか。		
	10	ペナルティを課す、連帯責任を取らせる等の指導方法に偏りがちではありませんか。		
	11	部活動等で、成績や結果だけを求めようとする指導になりがちではありませんか。		
	12	他の教師より「劣っている」と思われたくないという気持ちが強くありませんか。		
	13	指導上の悩みを同僚に打ち明けることに抵抗はありますか。		
	14	体罰をしている同僚を見ても、黙って見過ごしてしまう心配はありますか。		
校内体制	15	指導上の悩みを、同僚に気軽に打ち明けにくい職場の雰囲気があると感じませんか。		
	16	生徒指導を、一部の職員に任せきりにしていると感じることはありませんか。		
	17	体罰等が起きた場合、上司への報告・連絡・相談体制が機能しにくい心配はありますか。		
	18	体罰等が起きた場合、児童生徒が相談しにくい雰囲気があると感じませんか。		

◎評価のめやす

あるに○が5以上 → 自分自身や職場の在り方について、気になる点や心配な点を確認することが必要です。

10以上 → 自分自身の人権感覚、指導方法の見直しや職場全体の研修と取組が必要です。

体罰防止のために

- 1 体罰はいかなる理由があっても絶対に行ってはならない行為であり、地方公務員法に基づく懲戒処分の対象となることを再確認してください。
- 2 機を捉えて自分自身の人権感覚や指導方法について見直し、教師としての専門性や指導力を高めるよう自己研鑽に努めてください。
- 3 生徒の指導上の問題を一人で抱え込まず、組織で対応できる校内体制を整備していきましょう。